



東京エレクトロン(TEL)は、1963年の設立以来、半導体製造装置の世界のリーディングサプライヤーとして、コータ/デベロッパ、プラズマエッチング装置、熱処理成膜装置、枚葉CVD装置、洗浄装置、ウェーハプローバなど、幅広い製品分野の開発・製造・販売を行っています。

また、半導体製造装置の分野で蓄積した専門技術を生かして、フラットパネルディスプレイ(FPD)製造用のコータ/デベロッパおよびエッチング/アッシング装置の開発・製造・販売も行っています。これらの半導体製造装置およびFPD製造装置の多くは、世界のリーディングシェアを獲得しています。

さらに、世界の優れた半導体製造装置、ブロードバンドに対応したSAN(Storage Area Network)関連製品、インターネットテクノロジー関連製品、電子部品などを日本国内で販売する専門商社としても確固たる地位を築いています。

東京エレクトロンは、アメリカ、ヨーロッパ、アジア12カ国に広がるグローバル拠点網を通じ、優れた製品とサービスをお客さまに提供するとともに、株主価値の最大化に取り組んでいます。

## 目次

財務ハイライト	1
株主の皆様へ	2
東京エレクトロンの事業概要	6
クローズアップ	8
環境・健康・安全に対する取り組み	14
知的財産報告書	16
コーポレート・ガバナンス	18
財務セクション	
財務の概況	20
6年間の主要財務データ	27
財務諸表	28
公認会計士の監査報告	37
TELグローバルネットワーク	38
株主メモ	39

## 将来見通しに関する注意事項

このアニュアルレポートで述べられている東京エレクトロンの将来の業績予測、経営戦略、確信などは、現時点で入手可能な情報に鑑みてなされた当社の判断に基づくものであり、これらの将来見通しの記述には、既知または未知のリスク、および不確実性などの要因が内在しています。従いまして、実際の業績、成果はここに述べられている見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。東京エレクトロンの将来見通しに直接的・間接的に影響を与える要因としては次のようなものがあります。

- 国内外の経済情勢、消費動向、為替相場の大幅な変動
- 半導体、FPD市況の変化
- 半導体メーカー、FPDメーカー、電子機器メーカーなどの東京エレクトロンの顧客が生産または提供する製品とサービスに対する需要の変化
- 急速な技術革新、変化する顧客ニーズにタイムリーに対応する製品やサービスを東京エレクトロンが継続的に開発し提供していける能力

ただし、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。